

日通グループ経営計画 2012

— 新たなる成長へ —



1. 経営計画の名称

日通グループ経営計画 2012

— 新たなる成長へ —

2. 実施期間

2010年4月1日 ~ 2013年3月31日(3年間)

3. 数値目標

A. 財務数値(最終年度の到達目標)

	連 結
売 上 高	1兆8,000億円
営 業 利 益	580億円
当 期 純 利 益	350億円
株主資本利益率(ROE)	7.0%
設備投資額(3ヵ年計)	1,920億円

B. 環境数値

CO₂排出量については、日通グループとして原単位で2009年度を基準に2012年度までの3年間、年平均1.0%以上の削減を行う

ビジョン(日通グループのあるべき姿)

- ◆グローバルロジスティクス企業
世界のお客様に物流を通じて貢献する
- ◆地球への責任を果たす企業
環境への配慮と低炭素社会の実現に貢献する
- ◆人にやさしい企業
従業員を大切にし、働きがいを実現する

4. 基本戦略

◆グローバルロジスティクス企業としての成長

国内・海外でのグローバルビジネスを推進し、国際関連事業売上高比率50%を目指す

◆戦略的環境経営の推進

環境経営を戦略的に展開し、持続可能な成長を実現する

◆経営基盤の強化

競争力を高め、グループ経営を推進する

◆CSR経営の推進

事業活動全般に対するガバナンスを強化し、社会的責任を遂行する

5. 重点施策

◆グローバルロジスティクス企業としての成長

国内・海外でのグローバルビジネスを推進し、国際関連事業売上高比率50%を目指す

A. グローバル市場における事業展開

- **アジア市場における競争優位性の確保**
多国間物流・域内物流の取組み強化
国内事業における知識・経験・技能の海外への展開
- **新興国市場での事業拡大**
拠点整備による物流ネットワークの拡大
新興国市場の特性に応じた事業展開
- **米・欧州の地域事情に合わせた事業展開**
地域特性に応じた事業並びに域内物流への取組み強化
- **日本国内におけるグローバルビジネスの開拓**
グローバル展開を図る顧客の開拓
- **海外経営人材の積極的採用と活用**

B. ワンストップ営業の推進

- **国内・海外ネットワークを駆使した総合物流提案・サービスの提供**
日系グローバル企業とのパートナーシップ構築によるビジネス深耕
外資系グローバル企業への営業拡大
- **顧客単位での責任営業体制の強化**
顧客情報共有化による営業推進

C. ロジスティクス営業の強化

- **3PLを中心とする総合営業の推進**
- **提案・課題解決機能(ソリューション機能)の強化**
サプライチェーン最適化のための提案と実行
グループ機能の効果的な活用によるサービスの提供
(IT・ファイナンス・コンサルティング・商社・人材供給機能)
<日通情報システム・日通キャピタル・日通総研・日通商事・キャリアロード>

D. 新たな事業領域の開拓

- **成長する領域に特化した商品の開発と事業化**
新事業領域を開拓する商品企画・開発機能の確立
物流との相乗効果が発揮できる新領域での商品開発
医療・医薬、新エネルギー、公共サービス等の領域における新事業創出

E. 小口貨物事業体制の構築

事業推進のための本社マネジメント機能の強化
利用運送による小口貨物事業の展開

F. 地域営業と専門特化事業の強化

- **地域性を活かした商品・サービスの提供**
地域を支える企業・団体・地方自治体等への営業強化
- **専門特化事業の営業推進**
通運事業・重機建設事業・警備輸送事業・美術品事業
- **引越事業の強化**
優位性のある商品・サービスの開発
個人引越における競争力の強化
法人顧客への深耕・拡販

◆戦略的環境経営の推進

環境経営を戦略的に展開し、持続可能な成長を実現する

A. 環境配慮型ビジネスの展開による成長

環境配慮型物流拠点による顧客誘致
環境配慮型商品・サービスの開発・設計
モーダルシフトを切り口とした通運・内航海運事業の拡大

B. CO2削減対策等の着実な実施

改正省エネ法及び条例への的確な対応
環境配慮車両の導入拡大とエコドライブの徹底
環境配慮型物流拠点の整備と物流の効率化の推進

C. 循環型社会構築のための取組み強化

3Rの推進
梱包資材等の省資源化の徹底

D. 環境意識の醸成・浸透

環境マネジメントシステムの強化

◆経営基盤の強化

競争力を高め、グループ経営を推進する

A. 卓越した品質の提供

- **顧客満足の徹底追求**
お客様目線での品質向上の徹底追求
品質基準・目標の設定、業務の見直し・改善
新技術の研究開発と導入
- **現場作業効率の向上**
指標と目標値の設定
改善施策の実行の検証プロセスの確立
- **コスト低減の取組み**
ITを活用したコスト管理、費用分析
調達コストの削減
- **高品質な技能の継承**
社内指導員の育成・充実
技能長、指導員を核としたOJTの推進
技能系社員の階層別教育、部門別教育、技能訓練の充実

B. 財務体質の強化

投下資本の効率的運用
資金の効率的運用と安定的調達

C. 選択と集中による戦略的投資の実施

M&A及び資本提携による機能強化
国内・海外各地のグローバル事業拠点の機能整備

D. 事業別管理に向けた基盤整備

- **各事業の市場におけるポジションの明確化**
事業・顧客別収支の把握を可能にする経営の可視化の実現
事業内容を検証するプロセスの策定と実態に即した事業評価制度の確立

E. グループ経営の一層の強化

- **連結各社との一体経営**

各社の特色を活かした事業展開への相互支援
グループ内経営・営業企画機能の連携

F. 人材の育成と活用

高度な専門能力を持った人材の採用・育成と活用
多様な人材の活用
グループ一体となった人材育成体制の構築

G. グローバルIT基盤整備

長期的IT戦略の構築
ITガバナンス体制の構築

◆CSR経営の推進

事業活動全般に対するガバナンスを強化し、社会的責任を遂行する

A. 社会的責任の遂行

- **コンプライアンス経営の推進**
- **交通事故・労働災害ゼロへの挑戦**
運輸安全マネジメントによる安全管理体制の継続的改善
潜在的な危険の発見・除去・低減による事故災害の未然防止
- **危機管理体制の確立**
事業継続体制の整備
非常事態における物流サービス機能の維持
- **社会とのコミュニケーションの充実**
情報発信の充実・強化
社会貢献活動の推進

B. 働きがいと従業員満足度の向上

ワーク・ライフ・バランスの推進
心身両面での健康増進と活力を生み出す職場環境の整備
働きがいと従業員満足度を高めるための人事制度の整備